



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2023年11月11日発行 第24号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



『共働学習』について

～家庭の支援が

学習の効率をより高めます！～

校長 三原 洋一

立冬を迎え、暦の上では冬となったとはいえ、このところ暖かい日が続いています。東京でも、今週、最高気温が27.5度に達し、100年ぶりに11月の最高気温を更新したそうです。しかしながら、これから気温が急激に下がるようですので、体調管理には気を付けたいものです。

さて、保護者の皆様には、毎週担任が示す「学習計画表」に目を通していただき、家庭学習を支援していただいていることに感謝申し上げます。

本校でのこの取組は、児童生徒の日本語力



の向上のため、2020年度末に、それまで5年間続いた「国語科コース別学習」を廃止し、新たに「国語力向上ベーシックプラン」を打ち出したことに始まります。学び合い学習・言語学習・家庭学習に重点をおいた本校独自のアクティブラーニング「共働学習」がスタートし、コロナ禍のオンライン授業を乗り越えて、本校生徒の日本語力の底上げに取り組み、持続性の高い日本語での教育を目指しているところです。

「共働学習」は、二つの要素をもっており、一つは、授業での子ども同士の学び合いを推進する本校独自のアクティブラーニング、もう一つは家庭と学校の共働です。

前者については、学校の校内研修として、授業研究を中心とした授業改善について計画的に取り組んでいます。後者については、毎週、日曜日までに「学習計画表」を保護者の皆さまに提示し、「保護者は第二の担任」という思いのもと、家庭での学習の支援をお願い



いしております。

この「学習計画表」により、家庭でお願いする部分を明確に示し、その家庭学習を受けて学校で授業を行うという仕組みを確立することができました。家庭でしっかり準備が出来ていると、学校での学びが「わかる、楽しい授業」になります。

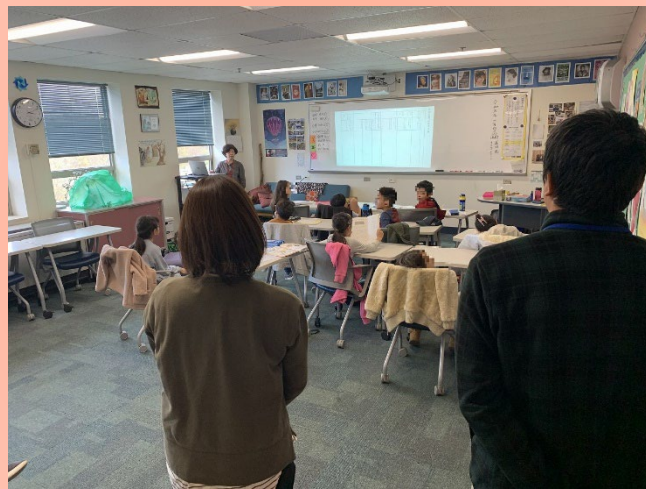
また、保護者の皆さんは、学校でどのような授業が行われているか知ることができ、学校や学習内容についての理解を深めることができ、教育への参画意識をもっていただくことができるようになりました。一方で、教員にとっても、単元すべてを授業で行わなければいけないという固定観念をなくし、効率よく単元の内容を授業で行うことが出来ることを確認できました。



「共働学習」は、家庭・学校・授業づくりなど、それぞれの役割をみんなが理解していることが大前提で取り組むことで効果が発揮できます。どうか、このことを再確認していただき、家庭学習の充実について、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

授業参観日

ご参観をありがとうございました。



11月4日には、本年度初めての授業参観を実施しました。初日は、小学部3・6年、高等部の優先日でした。子どもたちの生き生きと学ぶ姿をご覧いただけたものと思います。

入口AとCに「授業参観アンケート」を用意しております。今後の学校経営に生かしてまいりますので、ご意見やご感想をお寄せいただければと思います。



【今後の参観優先学年】

11日：小学部1・2・5年

18日：幼稚部、小学部4年、中学部